

2024年 4月 2日発行  
(公財) 北海道農業公社

▼ 公社HP

<https://www.adhokkaido.or.jp/>



# 農業公社 ニュース



(第22号)

新規採用5名、嘱託採用4名の計9名の採用者を迎え、当公社の新年度がスタートしました。

厳しい経営環境が続く中、国においては、食料安全保障の確保を基本理念とする「食料・農業・農村基本法」の改正案と関連法案が今国会で審議されておりますが、国内最大の食料供給地域である本道の役割と寄せられる期待はますます高まる方向にあります。

これから春の農作業も本格化します。今年も暑い夏が予想されておりますが、豊穡の秋を迎えられるよう祈念しつつ、関係機関・団体の方々と緊密に連携しながら、各種業務の円滑な推進に努めてまいりたいと存じます。

「農業公社ニュース」の第22号をお届けいたします。

## ■ 宮本副理事長が「令和5年度農協功労者表彰」を受章

J A全中（全国農業協同組合中央会）では、表彰規程に基づき、「成績優良な農業協同組合」ならびに「農業協同組合の発達に功労のあった方」を毎年表彰されておりますが、当公社の宮本副理事長がこのうちの「功労表彰（緑綬）」（全国65名）を受章いたしました。

功労表彰候補者となる際には、勤続年数等の基準のほかに、関係する農協が原則として合併構想実現組合等であるなどの基準が定められています。

さる3月8日、東京都内で開催されたJ A全中臨時総会の場で、「特別功労表彰（紅綬）」（全国33名）に村木前ホクレン副会長、同じく「功労表彰（緑綬）」に長谷川J Aるもい組合長〔=当公社理事〕、矢野ホクレン専務と、道内からは計4名の方々が功労章を受けられました。

皆さま、おめでとうございます！



▲ 表彰状・功労章・副賞とともに（当会社 宮本副理事長）

【総務部】

## ■ 機構事業に係る担当者会議を全道3ブロックで開催

さる3月4日から11日にかけて、旭川、芽室、札幌の道内3会場で市町村、農業委員会、農業協同組合等関係機関の実務担当者を参集範囲とした「令和5年度第2回農地中間管理機構事業に係る実務担当者会議」（協力：北海道及び北海道農業会議）を開催いたしました。

昨年10月に実施しました第1回の同会議では「農業経営基盤強化促進法」及び「農地中間管理事業の推進に関する法律」を一部改正する法律が施行されたことに伴い、農地中間管理事業や農地売買等事業（農地保有合理化事業）を円滑に行うための事務手続き等について、当会社が改正等検討していた内容を中心に説明を行いました。第2回の今回は、前回の説明会後の意見・要望等を検討し、「地域計画」の策定後に、当会社が「農用地利用集積等促進計画」に基づき行うこととなる所有権移転登記や農用地等の売買における代金支払に関する事務等について、手続きの流れやその詳細について説明を行ったものであり、参加者からもそれらに関する熱心な質問が出されました。

令和6年4月から実際に農用地利用集積等促進計画を用いて農地の権利移動を行う市町村は道内で3市町村の予定であり、残りの市町村は令和6年度中に地域計画を策定することとなります。今後、地域計画の策定にあたり、関係機関・団体と連携しながら本支所一体で支援に努めるとともに、計画策定後の効率的な事務処理方法などについて、さらに検討・改善を図ってまいります。

旭川会場  
の様子 ▶



【農用地部】

## ■ スマート農業セミナーを開催

～ 土壌のミラクルワールドから見た新たな視点 ～

北海道高度情報化農業研究会（事務局：北海道農業公社）では、「土壌のミラクルワールドから見たスマート農業の新たな視点」をテーマに、さる3月7日、「スマート農業セミナー」を開催いたしました。会場、オンラインあわせて237名と多数のご参加をいただいたところです。

今回のセミナーは、改めて農業の基盤となる「土壌」と、その上に育まれる「作物」との関係を理解し、新しい視点を持つためのきっかけづくりを目的に開催したものであり、5名の講師の方々に、土壌のミクロから宇宙のマクロまで壮大なミラクルワールドになるようなご講演をいただきました。

1. 基調講演 「土壌のミラクルワールドから見たスマート農業の新たな視点」  
北海道大学大学院農学研究院  
教授 信濃 卓郎 氏
2. 講演①「草地飼料作物におけるリモートセンシングを用いた可変施肥、排水性改良技術導入の可能性」  
北海道立研究機構農業研究本部酪農試験場 天北支場  
主査 岡本 英樹 氏
3. 講演②「衛星オープンデータで見る農地土壌の不均一性」  
元ホクレン技監  
志賀 弘行 氏
4. 講演③「多時期衛星画像を用いた黒ボク土の可変施肥適地判定と低地土ほ作物生育阻害要因の推定」  
株式会社スコージャ総合科学研究所  
所長 丹羽 勝久 氏
5. 講演④「リモセンデータに基づく秋まき小麦の生育量の推定と可変技術への応用や、排水改良の要否判断」  
北海道立研究機構農業研究本部十勝農業試験場  
主査 石倉 究 氏



▲ 小田原会長挨拶



▲ パネルディスカッションの様子



▲ セミナー会場の様子

【農村施設部】

## ■ 令和6年度乳肉用牛貸付事業の参加取りまとめ実施中！

当公社畜産部が毎年実施しております乳肉用牛貸付事業については、現在、主に全道の農協あてに事業参加の希望調査を実施しているところです。現時点で参加を希望されていない方であっても、年度途中での参加も可能ですので、地元農協を通じて、あるいは、下記の連絡先に「お気軽に」お問い合わせください。

酪農畜産業界のみならず、近年、世界規模で起こる事象や変化等に翻弄され、先行きの見通しが立てにくい状況となっておりますが、何はともあれ農家の皆さんの経営の手助けにということで本事業を実施しておりますので、事業参加の有無を問わず、「ちょっと内容を聞いてみたい」というだけでも結構です。ご連絡いただければ、担当者が丁寧に説明させていただきます。

また、毎度のご説明ではありますが、この事業は乳肉用牛の導入を希望する農家の皆さんへ、公社購入の乳肉用牛を地元農協等を通じて一定期間貸付し譲渡する事業となっておりますので、農家の方々への直接貸付は行っておりません。事業の概要は以下のとおりとなっておりますので、お問い合わせ、ご参加をお待ちしております。

### 【公社連絡先】

北海道農業公社 畜産部

(直通 ☎ 011-241-5761)

(fax 📠 011-271-3776)

🐄 乳牛担当：濱田 (ハマダ)

🐄 肉牛担当：昆 (コン)



### 公社牛貸付事業 (乳用牛)

- 補助金 ～ 無 (非補助事業です)
- 導入牛 ～ ホルスタイン種で10か月以上の育成牛、18か月以上の成牛
- 貸付期間 ～ 5年以内
- 譲渡代金 ～ 購入価格と同額
- 管理料 ～ 事業経費として毎年購入価格の1.2%
- 導入期間 ～ 4月中旬から令和7年2月末まで
- 導入頭数 ～ 上限はありませんが6年度は300頭の導入予定です

### 優良肉用牛貸付事業 (肉用牛)

- 補助金 ～ 有の場合 (要件により6万円、9万円のいずれか)  
無の場合 (非補助事業ですが他の補助事業との重複可能)
- 導入牛 ～ 黒毛和種・褐毛和種・日本短角種で6か月以上12か月未満の子牛、または48か月未満の成牛
- 導入要件 ～ 導入牛の父 (種雄牛) によって補助対象外となる場合あり
- 貸付期間 ～ 6年以内
- 譲渡代金 ～ 購入価格 + 借入金利息相当額 - 補助金
- 管理料 ～ 事業経費として毎年定額3,500円 (税抜)
- 導入期間 ～ 5月から令和7年3月上旬まで
- 導入頭数 ～ 上限はありませんが6年度は200頭の導入予定です

【畜産部】

## ■ 5つの「安全衛生管理目標」を掲げて！

当公社職員一人ひとりが安全かつ健康に働くことができるよう、「令和6年度 総合安全衛生管理方針」を策定しました。

当管理方針に5つの安全衛生管理目標を掲げて、「無事故・無災害」及び「無違反」の達成を目指すとともに、「体の健康」と「心の健康」に配慮した職場づくりに引き続き取り組みます。

### 5つの安全衛生管理目標

- 死亡災害ゼロ
- 無事故・無災害の達成
  - ・機械災害（作業機・吊り荷の激突）、転落災害（重機乗降時）の未然防止
  - ・鹿などの動物との衝突事故を避けるためのスピードダウン運転
  - ・バック事故を防ぐためのゆっくりした後退と前後左右の確認
- 交通ルール遵守による無違反の達成
  - ・法定速度を守った運転
  - ・公用車運転前後のアルコールチェックの徹底
  - ・ゆとりを持った運行計画の推進
- 「体の健康」と「心の健康」に配慮した職場環境づくりの推進
  - ・作業員の健康状態や年齢などに配慮した作業の実施
  - ・熱中症予防対策の実施
  - ・厚労省の「労働者の心の健康の保持増進のための指針」に基づく「心の健康づくり」の推進
- 国・地方公共団体等からの感染予防措置への着実な対応

【統括労働安全衛生委員会】

## ■ 令和6年度に向け「第3回農場HACCP等研修会」を開催

「農場HACCP認証基準等を活用した飼養衛生管理基準の構築」に向けて、さる2月28～29日、北海道立総合研究機構畜産試験場の山口副場長を講師にお招きし、当公社の小田原理事長、大高専門理事、当牧場職員の計14名が出席し、5年度最終となる研修会を開催しました。

過去1回目（R5. 7. 24～25）は当牧場内の現地調査・指導及び農場HACCPの概要や取組によるメリット等の説明、2回目（R5. 10. 26～27）では牧場内における現地指導（＝改善点の確認など）と衛生管理プログラムの事前整備にもなる作業手順等の説明、そして今回3回目は、令和6年度に向けて、これまでの研修内容の再確認、ポイントとなる作業手順や飼養衛生管理について説明を受けました。



◀ 第3回農場HACCP等研修会の様子

【十勝育成牧場】

## ■ 行政と農業団体の連携強化に向けて

～ 「令和5年度 胆振農政懇談会」が開催 ～

胆振生産農業協同組合連合会(事務局：当公社苫小牧支所)主催による「令和5年度 胆振農政懇談会」が、さる1月29日に苫小牧市内にて開催されました。

胆振農業の現状と課題について、行政とJA・農業団体が意見交換できる場として毎年開催しており、情報共有や話題提供を行うなど、胆振農業の発展を「オール胆振」として取り組むこの懇談会は、おかげさまで他方面より高い評価をいただいております。

この度の農政懇談会では、胆振生産連の長門宏市会長による開会挨拶、胆振総合振興局の関局長による来賓挨拶をいただき、その後各団体から報告が行われました。当公社から話題提供を行った農地中間管理事業等について活発な意見交換が行われたところです。

胆振生産連の佐藤哲副会長による閉会挨拶で終了し、その後、懇親会が開かれ、更なる交流と意見交換がなされました。

### ▼ 報告内容

- |                                 |                |
|---------------------------------|----------------|
| 1. 「施設園芸における燃料・資材高騰対策について」      | 胆振総合振興局産業振興部   |
| 2. 「自給飼料生産支援酪農対策について」           | 胆振総合振興局産業振興部   |
| 3. 「普及センターの取組と耕作期間における気象条件」     | 胆振農業改良普及センター   |
| 4. 「家畜伝染病防止対策について」              | 胆振家畜保健衛生所      |
| 5. 「農協概要と問題について」                | JAとうや湖         |
| 6. 「伊達市における営農状況について」            | JA伊達市          |
| 7. 「販売実績・農業振興計画・耕畜連携・担い手対策について」 | JAとまこまい広域      |
| 8. 「農畜産物販売状況・農業振興の状況について」       | JAむかわ          |
| 9. 「共済掛金及び収入保険の助成に係る要請書について」    | NOSAI北海道いぶり支所  |
| 10. 「農政対策について」                  | JA北海道中央会札幌支所   |
| 11. 「北農5連サポート事業活用について」          | JA北海道信連札幌支所    |
| 12. 「2024問題に係る政府の動向と本会の対応について」  | ホクレン苫小牧支所      |
| 13. 「社会貢献活動について」                | JA共済連北海道本部札幌支所 |
| 14. 「公社の概要・農地中間管理事業等について」       | 北海道農業公社苫小牧支所   |

### ▼ 参加者

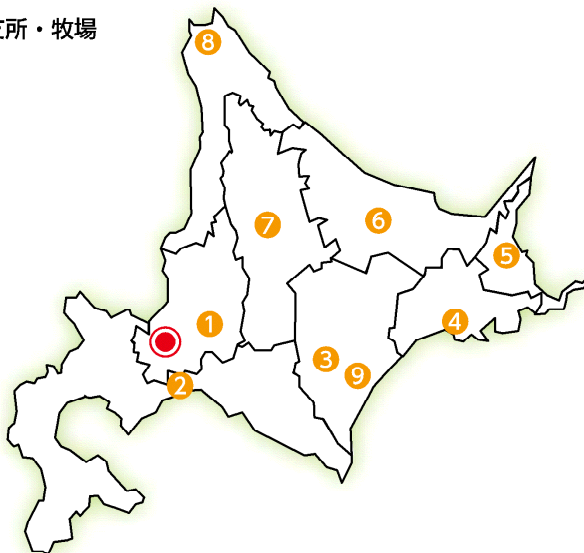
胆振総合振興局（振興局長・産業振興担当部長・農務課長）、  
胆振農業改良普及センター（所長・東胆振支所長）、胆振家畜保健衛生所（所長）、  
JAとうや湖（組合長・理事参事）、JA伊達市（組合長・理事参事）、  
JAとまこまい広域（組合長・専務・理事参事）、JAむかわ（組合長・理事参事）、  
NOSAI北海道いぶり支所（理事・支所長）、JA北海道中央会札幌支所（支所長）、  
JA北海道信連札幌支所（次長）、ホクレン苫小牧支所（支所長・次長）、  
JA共済連札幌支所（支所長・駐在次長）、北海道農業公社苫小牧支所（支所長・次長）



【苫小牧支所】

本所・支所・牧場所在地

● 本所 ①～⑨ 支所・牧場



**本所**

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23  
TEL. 011-241-7551 (代表) FAX. 011-271-3776  
<https://www.adhokkaido.or.jp>



**監査室**  
TEL. 011-241-7557

**農業経営相談室**  
TEL. 011-522-5579

**農場整備部**  
TEL. 011-241-7554

**総務部**  
TEL. 011-241-7551

**農用地部**  
TEL. 011-241-5751

**畜産部**  
TEL. 011-241-5761

**担い手支援部**  
TEL. 011-271-2255

**農村施設部**  
TEL. 011-241-5701

**統括労働安全衛生委員会**  
TEL. 011-241-7557

**支所・牧場**

**① 岩見沢支所**

〒068-0025 岩見沢市5条西5丁目2番地1 空知農業会館  
TEL. 0126-23-2178 FAX. 0126-23-4260

**② 苫小牧支所**

〒053-0021 苫小牧市若草町5丁目5番3号日胆農業会館  
TEL. 0144-32-8171 FAX. 0144-32-3215

**③ 帯広支所**

〒080-0022 帯広市西12条南6丁目3番地1 農協連ビル  
TEL. 0155-65-0607 FAX. 0155-33-1503

**④ 釧路支所**

〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10番地 釧路農業会館  
TEL. 0154-22-1538 FAX. 0154-25-4798

**⑤ 中標津支所**

〒086-1007 標津郡中標津町東7条南1丁目1番地2 根室農業会館  
TEL. 0153-72-3296 FAX. 0153-73-2080

**⑥ 北見支所**

〒090-0833 北見市とん田東町617番地  
TEL. 0157-25-2826 FAX. 0157-25-9188

**⑦ 旭川支所**

〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号 JA上川ビル  
TEL. 0166-25-2613 FAX. 0166-26-3464

**⑧ 稚内支所**

〒097-0001 稚内市末広4丁目2番31号 宗谷農業会館  
TEL. 0162-33-3321 FAX. 0162-33-7339

**⑨ 十勝育成牧場**

〒089-2261 広尾郡大樹町字尾田708番地  
TEL. 01558-7-5121 FAX. 01558-7-5159